

福島県ソーシャルワーカー3団体合同研修会  
令和6年度ソーシャルワーカーデー研修会 開催要項

## 災害ソーシャルワークを考える

### ～個人として、組織としてできること～

#### 1. 趣旨

福島県は東日本大震災を経験し、SW 団体も様々な支援を実施してきた。

しかし10年以上経過したいま、会員の世代交代等もあり個人・組織（団体、所属先）として十分な認識ができていないか疑問がある。

災害はいつ起きてもおかしくない状況にあるなかで、災害時に発生する生活課題等を理解し、発災時のソーシャルワーク活動に取組めるように知見を深める。

また、研修を通して学びを共有することにより、三団体のソーシャルワーカーがつながり、専門的支援体制の広がりや県民の福祉の向上に寄与することを期待する。

#### 2. 日時 令和 6年 8月 4日（日）

午後1時30分 ～ 午後4時00分 （受付 午後1時00分～）

#### 3. 会場 農業総合センター 多目的ホール

（福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地）

#### 4. 主管 福島県医療ソーシャルワーカー協会

#### 5. 参加対象

福島県社会福祉士会、福島県精神保健福祉士会、福島県医療ソーシャルワーカー協会の会員

#### 6. 内容 『災害ソーシャルワークを考える』

##### 1) DWAT について理解する（講義）

講師：福島県保健福祉部社会福祉課 副主査 吉田賢司 氏

##### 2) 令和6年能登半島地震の支援から見えてきたこと（三団体の代表者によるシンポジウム）

シンポジスト：精神保健福祉士会 菅野直樹 氏（福島赤十字病院）

社会福祉士会 鈴木雅史 氏（郡山市障がい者基幹相談支援センター）

医療ソーシャルワーカー協会

吉川 正宏 氏（竹林貞吉記念クリニック）

##### 3) グループワーク （災害時のソーシャルワーク：個人として、組織としてできること）

7. 日程

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会  
講義（30分）  
福島県におけるDWAT活動（仕組みと実施状況）
- 14:00 シンポジウム（60分 15分×3者発表 意見交換 15分）
- 15:00 休憩
- 15:15 グループワーク（45分）
- 16:00 閉会

8. 定員 150名

机に2名着席としグループワークを行う際にはテーブル移動について協力ください

9. 申込

以下の二次元コードから申込フォームにそって必要事項を入力下さい  
メールアドレスの入力間違いにお気を付け下さい（受付完了メールが届かない）



申込受付期間 令和6年7月16日～令和6年7月31日

10. 参加費 無料

11. 問合せ先 福島県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 熊坂隆志  
なでしこ川俣 TEL024-566-2661